

9月になりました。

今年の8月、東京都は全日が30度を超える真夏日を記録したそうですが、千葉県もほとんど変わらない様な酷暑が いまだに続いています。夏の疲れが出る頃ですので保育園でも 子ども達一人一人の体調に 充分 配慮しながら、ゆったり過ごせるよう無理のないカリキュラムを心がけています。コロナやインフルエンザの感染拡大にも驚いていますが、衛生管理と環境整備の徹底に気を緩めることなく取組んで参ります。皆様も厳しい残暑の中くれぐれもご自愛ください。神様のお守りをお祈りしています。

さて 先週の月曜日、私共つのぶえ保育園にとって 残念で悲しい連絡がありました。お隣の 成田教会の前任者である 日野長臣牧師先生が、前日の8月27日（日）朝に急逝されたとのことでした。あまりに急なお知らせだったため、すぐには信じられず茫然としてしまい、しばらく言葉を失ってしまうほどの驚きでしたが、ここに謹んで生前の 多くのお力添えに感謝し、心からの哀悼の意を表すると共に ご報告致します。

日野先生は 30数年 成田教会で奉職され、その間には つのぶえ保育園の園長を務められたこともありました。現在の教会が建てられるまで、成田教会に建物は無くいつも、保育園の2階のホールを借りる形で 毎週日曜日の礼拝が 行われていました。日野先生ご夫妻と教会員皆様の切なるお祈りが 神様の御心へ届いたのだと思います。それから後、教会の建設が決定されました。ところが、複雑な地形での工事は困難で非常に大掛かりなものでした。保育園生活への支障や影響等が生じることを心配され先生は 子どもや職員や保護者への安全安心のため、保育園に対する最大限の配慮を積極的に努めてくださいました。長期間に亘る大工事でしたが、建築完了までの日々懸命に尽力されていらした先生と奥様のお姿は、神様への信仰と 成田教会への愛に満ちあふれていました。ついに 永年の悲願とも言える教会が 無事に完成された時の先生ご夫妻の、安らかでとても嬉しそうな笑顔は、今でもはっきりと思い出されます。私達も子ども達と大喜びで、教会の新たなスタートを一緒にお祝いさせて頂きました。その日から “神様の御心によって建てられた同じ敷地内に在る” 教会と保育園として互いに祈り合い 支え合いつつ 温かな交流の中で 共に歩んで来ることが出来ました。

数年前、成田教会での牧師のお務めを終えられた後も つのぶえのことを変わらずお心にかけてくださり、当法人共励福祉会の理事や監事の立場でも支えて頂きました。一昨年、大腿骨骨折による手術のため 新潟へ行かれてからは リハビリをされながら 「保育園の子ども達や職員のためにいつも祈っているよ」と変わらない明るいお声でお電話を頂く度に励まして頂き、大きな力と心強さを与えられ感謝でいっぱいでした。また、5月と6月に開催された理事会・評議員会の際に頂いた先生からのお手紙には 今 つのぶえとの関係が、少し疎遠になってしまっている成田教会の状況を案じられ 永い時間をかけて、共に祈り合い支え合う関係を築き合ってきた絆を繋ぎ続けるよう神様の同じ恵みの中に在る保育園への想い、成田教会の使命と愛が記されていました。私共つのぶえ保育園も、天国から見守ってくださっている日野先生のお気持ちを心に 幼な子達の貴い命を預かり育む重く大切な働きとしての矜持を持ち、歩んで参ります。日野先生の魂の上に ご家族皆様の上に 神様の平安と慰めを 心よりお祈り致します。

『私たちの国籍は 天にあります。(ピリピ人への手紙 3:20)』 (石田 記)